




| | | | |
|---------|---|---|---|
| 收受年月日 | 議 長 | 事務局長 | 書 記 |
| 4・11・10 |  |  |  |
| 第 100 号 | | | |



令和4年11月10日

埴町議会議長 割貝 寿一 様

総務常任委員会委員長 下 重 義 人



所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第77条の規定により報告する。

記

1 調査事件 スクールバス及び学童保育の運営状況について

2 調査の経緯

本委員会は、埴町のスクールバス及び学童保育の運営状況について、担当課長及び職員からの聞き取り調査を行った。

調 査 日：令和4年10月21日（金）

出 席 委 員：下重義人、吉村守広、藤田一男、吉田克則、青砥與藏、菊地哲也、鈴木孝則

説 明 員：学校教育課長、課長補佐兼管理係長、学校教育係長

職務出席者：議会事務局長、書記

場 所：委員会室及び埴小学校

3 調査の結果

1) スクールバスの運営状況につて

国内の幼稚園で送迎バスに幼児が置き去りになり死亡事故があったため、当町における乗降時の安全確認状況を調査した。

国は、保育園、幼稚園などの安全管理に関する調査を行なったが、それを参考に学校教育課で独自に小中学校についても調査しており、その内容について説明を受けた。

町では、スクールバスとして教育委員会が保有するバスとダリア観光バス、福島交通を利用して送迎を実施している。はなわこども園保育部は、保護者による送迎のためスクールバスは利用していない。それぞれの学校や幼稚園で任意の方法により、バスの降車時に、運転手や職員が車内に誰もいないことを確認しているので、この様な事件は発生していないとの説明であった。

国ではバス内に安全センサー等を取付ける議論が出ているが、やはり人の目で確認することと、欠席時の対応が重要であり、現在、埴町ではそれが確実に実行されていることが確認できたが、引き続き危機管理意識を持ち、事故の未然防止に努めていただきたい。

2) 放課後児童健全育成事業（学童保育）実施状況について

実施日・実施時間・実施場所と対象児童等について説明を受けた。

実施日は、各学期期間中及び長期休業中で、実施時間は、原則平日は下校時より午後6時、土曜日及び長期休業中は午前7時40分より午後6時まで、実施場所は埴小学校（1年生～3年生）、旧埴幼稚園（4年生～6年生）、笹原小学校（1年生～6年生）であった。利用料金は月額3千円となっている。支援員は11名（埴小9名、笹原小2名）で対応しているが、不足しているとのこと。

埴小学校で事業の様子を視察したが、教室内や校庭で元気に活動している様子を見て、働く親にとってとても重要な事業であると再認識した。また、預かる児童数が多く、当然、手のかかる児童もいるので支援員の大変さを痛感した。

放課後、家に帰っても親が仕事等で誰も見てくれる人がいない家庭にとっては、安心して子どもを預けられる事業であり、事故等に注意して事業を進めてほしいと感じられた。

4 委員報告書

別紙のとおり

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

令和 4 年 10 月 31 日

議会議長
委員会委員長 様



提出者 吉村 守広

| | | | |
|------------------------------|---|-------------|------|
| 派遣目的 (調査等 名称) | 総務常任委員会所管事務調査 | | |
| 派遣の 日時 | 令和 4 年 10 月 21 日 (金) | 派遣先 (場所) | 委員会室 |
| 内容 | スクールバス及び学童保育の運営状況について | | |
| 派遣 結果 (意見 及び 感想) | <p>・町では、スクールバス 3 台とダリア観光へ委託し 2 台、その他福島交通 を利用し、子どもたちが、登園登校している。</p> <p>昨年 7 月福岡県、今年 9 月には静岡県で園児の置き去り死する事件が発生 した。再発防止策が急務となっていると思う。町ではそれぞれの学校や幼 稚園で任意の方法により、バスの降車時に、運転手や職員が車内に誰もい ないことを確認しているので、この様な事件は発生していないそうです。</p> <p>国では、来年 4 月に安全装置の義務化に向け検討しているが、町ではセン サーで人を検知するようなものを考えているようです。しかし、安全装置 は万全ではなく、過信せず、二重三重の対策が必要だと思ふ。子どもたち が、安全に登園登校できるように危機管理意識を高めて対策を実行してほ しい。</p> <p>次に、学童保育について、実施場所は埴小学校 (1 年生～3 年生、9 2 名)、 旧埴幼稚園 (4 年生～6 年生、28 名)、笹原小学校 (1 年生～6 年生、17 名) で、料金は月額 3 千円となっている。支援員は特に資格は必要なく、 体力があり指導できる人なら誰でもなれるそうです。埴小学校で 9 名、笹 原小学校で 2 名いるが、まだ足りないそうです。現状を見学したが、子ど もたちが教室でレゴブロック等々で遊んでいたりと、校庭でサッカーをし たりしていて、とても楽しそうでした。放課後、家に帰っても親が仕事等 誰も見てくれる人がいない家庭にとっては、安心して子どもを預けられる 事業だと感じた。</p> | | |

埴町議会

| | | | |
|---------|-----|------|----|
| 收受年月日 | 委員長 | 事務局長 | 書記 |
| 4・10・31 | | | |
| 第 号 | | | |

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書




令和 4 年 11 月 2 日

| | | | |
|-----------------|-----|------|----|
| 議案審議日 | 委員長 | 事務局長 | 書記 |
| 委員会委員長 4/1/2 | | | |
| 第 号 | | | |

提出者 藤田 一男

| | | | |
|------------------------------|--|-------------|------|
| 派遣目的 (調査等 名称) | 総務常任委員会所管事務調査 | | |
| 派遣の 日時 | 令和 4 年 10 月 21 日 (金) | 派遣先 (場所) | 委員会室 |
| 内容 | スクールバス及び学童保育の運営状況について | | |
| 派遣 結果 (意見 及び 感想) | <p>・全国で数件、スクールバス通園園児の置き死亡事故が発生しており、あってはならないことであり埴町の現況について状況を聞いた。</p> <p>町では、各学校及び幼稚園でそれぞれに事故のないよう確認しているとのこと。バスの降車時に、運転手や職員が車内に誰もいないことを確認しているため、このような事件は発生していない。慣習による気の緩みが最も注意すべきであり、声掛け等による再確認が重要である。</p> <p>・学童保育の状況について、現地(埴小学校)視察も合わせ説明を受けた。</p> <p>現地では、子供たちが元気に過ごしていた。支援員が足りておらず、確保が大変であるとのこと。支援員はケガの心配や、子供間のいざこざの調整等気遣いが多いが、預ける保護者にとってはありがたい事業であり、事故等に注意して事業を進めてほしい。</p> | | |

| | | | |
|--------|---|---|---|
| 收受年月日 | 委員長 | 事務局長 | 書記 |
| 4・11・4 |  |  |  |
| 第 号 | | | |

写

調査・研修等報告書

| | | | | |
|------------|---|-----|-----------|-----------|
| 氏名 | 吉田 克則 | | 提出 年月日 | 令和4年11月3日 |
| 調査等 名称 | 経済常任委員会所管事務調査 | | | |
| 調査等 の日時 | 令和4年10月21日 13:30～ | 場 所 | 委員会室 | |
| 調査等 の内容 | ① スクールバス及び学童保育の運営状況について | | | |
| 意見感想 | <input type="checkbox"/> スクールバス乗降時の安全確認状況について 静岡県で園児が送迎バスに取り残され死亡した事件があったため当町における乗降時の安全確認状況を調査した。 町においてはスクールバスによる送迎を利用している園児、児童、生徒については乗降時の確認を運転手、職員が誰も残っていない事を確認していることや児童が座る場所を指定して座席表と乗降する児童の確認をしている旨の説明があった。事故はあってはならない、未然防止と細心の注意を払うことが重要と思われる。 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 放課後児童健全育成事業（学童保育）実施状況について 実施日・実施時間・実施場所と対象児童（約100名）等を担当者から説明を受けた。その後、埴小学校でおこなっている学童保育状況を視察した。子供達は、生き生きと施設内や校庭で遊ぶ子供達の姿を見ました。児童の健全な育成を見守っていきたい。 | | | |

埴町議会

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

令和 4 年 1 0 月 2 4 日

議会議長
委員会委員長

様



提出者 青砥 與藏

| 派遣目的 (調査等 名称) | | 総務常任委員会所管事務調査 | | 收受年月日 | 委員長 | 事務局長 | 書記 |
|---------------------|---|---------------|-----------|---------|-----|------|----|
| | | | | 4.10.24 | | | |
| | | | | 第 号 | | | |
| 派遣の 日時 | 令和 4 年 1 0 月 2 1 日 午後 1 時 3 0 分より | 派遣先 (場所) | 委員会室と埴小学校 | | | | |
| 内容 | 第 1 町の財務状況について | | | | | | |
| | 参加者：下重委員長ほか常任委員 6 名、事務局 2 名 | | | | | | |
| | 説明者：教育長、学校教育課長、学校教育課長補佐兼管理係長、 学校教育係長 | | | | | | |
| | <p>1, スクールバス乗降時の安全確認状況について</p> <p>送迎バス車内におろし忘れた園児死亡が、脱水症状の疑いにより死亡しました。国が実施した保育園、幼稚園等の安全管理に関する回答内容をまとめた。また、学校教育課が独自に小中学校の調査を実施し、確認している。</p> <p>[対応策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●乗車時は保護者が、降車時は職員が、送迎終了時は運転手さんが車内に誰もが残っていないことを確認している。 ●埴小学校では、児童が座る場所を指定し、運転手さんと学校で確認している。 ●はなわこども園幼稚部では、職員が同乗し、運転手と職員で再確認している。 ●はなわこども園保育部は、保護者の送迎となっている。 <p>[意見やまとめ]</p> <p>車内に置き忘れる事故の対象者は、幼稚園児・小中学校低学年であり、現状、十分対応していると思います。</p> <p>埴中学校のスクールバス利用者数の確認が出来ていない。</p> <p>2, 学童保育の運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平日は、下校時より午後 7 時 30 分まで実施している。 ●土曜日及び長期休業中は、午前 7 時 40 分より午後 6 時まで。 <p>特別な事情がある場合は午後 6 時まで実施している。 (長期休業とは、春休み・夏休み・冬休みを言います。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●埴小中学校の 1 年生から 3 年生まで 2 クラス、4 年生から 6 年生まで 1 クラス。 | | | | | | |

●笹原放課後児童クラブは、1クラス。

●埴では指導者9名、笹原では2名配置している。

〔利用料金〕

学期中 3000 円/月、夏休み 7000 円、冬休み 2000 円、詳細は確認ください。

〔意見やまとめ〕 共稼ぎ時代です、継続的な活動を期待します。

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

令和 4 年 1 1 月 2 日

議会 議長
委員会 委員長 様



提出者 菊地 哲也

| | | | |
|------------------------------|--|-------------|-----------|
| 派遣目的 (調査等 名称) | スクールバス及び学童保育の運営状況について | | |
| 派遣の 日時 | 10月21日(金) 午後1時30分～ | 派遣先 (場所) | 委員会室、埴小学校 |
| 内容 | ① スクールバス乗降時の安全確認状況について ② 令和4年放課後児童健全育成事業実施内容について | | |
| 派遣 結果 (意見 及び 感想) | ① スクールバス乗降時の安全確認状況について 埴小学校 座席表と名簿を使い運転手と学校で乗降時の確認 ダリア交通、福島交通、教育委員会バスは、運転手が車内に誰もいないことを確認。 笹原小学校 スクールバス利用児童については欠席する際の連絡体制を密にし、確認を行っている。車内は運転手、乗降時は教諭が確認を行っている。 こども園幼稚部 職員が同乗し乗降時の確認、登降園時に再度職員が確認。更にバスに誰も残っていないか、運転手と職員が確認。 また、通学バスの乗降時の安全確保についての「学校安全計画」「危機管理マニュアル」は、埴中が今年度中に見直しを行う、埴小は現行規定で対応できる、笹原小は今年度中に規定を策定する予定である。 国ではバス内に安全センサー等を取付ける議論が出ているが、やはり人の目で確認することと、欠席時の対応が重要であり、現在、埴町ではそれが確実に実行されていると思われる。 ② 学童保育について 埴小、笹原小、合わせて約130名の児童が利用している。埴小の米山、羽黒山教室を見学したが、教室内や校庭で元気に活動している様子を見て、働く親にとってとても重要な事業であると再認識した。また、預かる児童数が多く、当然、手のかかる児童もいるので支援員の大変さを痛感した。 | | |

埴町議会

| | | | |
|--------|-----|------|----|
| 收受年月日 | 委員長 | 事務局長 | 書記 |
| 4・11・2 | | | |
| 第 号 | | | |

支援員の増員が必要と思われが、勤務時間や給与体制等の問題でとても難しい現状である。

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

令和 4 年 10 月 27 日

議会議長
委員会委員長 様



提出者 鈴木 孝則

| | | | |
|------------------------------|--|-------------|-------------|
| 派遣目的 (調査等 名称) | 総務委員会所管事務調査 | | |
| 派遣の 日時 | 10月21日 午後1時30分 | 派遣先 (場所) | 委員会室・学童保育現地 |
| 内容 | スクールバスおよび学童保育の運営状況について | | |
| 派遣 結果 (意見 及び 感想) | <p>静岡県牧之原市の幼稚園での幼児置き去り死亡事故があり、国は保育園、幼稚園などの安全管理に関する調査を行なったが、それを参考に学校教育課で独自に小中学校についても調査した。スクールバスは教育委員会が保有するバス、福島交通バス、ダリア観光バスがあるが運転手が車内に幼児・児童生徒が残っていないかを確認している。また学校によっては対応が異なり座席を指定し運転手に名簿を渡したり学校も確認に関わったり欠席の場合の保護者との連絡を密にするなど確認を行なっている。</p> <p>重大事故が起こると文部科学省に限らず必ず国は責任問題を回避する意図もあって過剰とも言える対応を現場に求めて来ることが度々見られる。またそれを是とするマスコミ報道とそれに同調する声が共鳴し現場が再発防止の為にピリピリした異様とも言える緊張感に見舞われ余裕がなくなってしまうこともある。死亡事故があつて安全大会が開催されまもなく同様若しくは類似の事故があつた事案もある。事故は連絡の不徹底、怠慢や慣れ、過信が大きな要因でありまた気持ちや時間の余裕がなくなったときに起きやすいと思う。</p> <p>監視カメラや動体通知装置などの導入が検討されているようだが逆にそれを過信してしまう恐れも十分に考えられる。100%の安全というものがない以上私は現状の教育委員会の対応でよいのではないかと思う。</p> <p>学童保育については人数の多さに複雑な思いがした。</p> | | |

埴町議会

| | | | |
|---------|-----|------|----|
| 收受年月日 | 委員長 | 事務局長 | 書記 |
| 4・10・27 | | | |
| 第 号 | | | |